

烟をす一とまらば(一)は耕作も精く菌も
他所より一倍なりとい(一)た山烟よ一て土地
悪なり(一)一実をばら半も他所よりあふむ
す

一年く烟を降して田とまらばもの多し按るに
可しあり(一)可しあり(一)さるや後日本紀才
七し是靈能元年条曰今諸国百姓未盡
疫術唯趣水沢之種不知陸田之利或遭
渇旱更無餘穀秋稼若罷多致饑饉此乃
非唯百姓懈固由国司不存教導宜令百

姓兼種麥禾男夫一人二段凡粟之爲物
支久不敗於諸穀中最是精好宜以此狀
遍告天下盡力耕種莫失時候自餘雜穀
任力課之若有百姓輸粟轉稻者聽之云々
民の上よ立人かゝる文書を考合て飢饉を
救ふるに民よあふあり(一)さるや

一 水田を耕さよ一丈よる刈を宛秋の二重に
百目位より二百目位を限と柄のすゞみ他
より斜之一丈一日よ百刈を耕さ田川郡
ハ耕しなう(一)田を塗他海郡ハ先田を塗